3-218-904-**04**(1)

フロアスタンド

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

WS-S10LS

⚠警告

安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたが示されています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

対応モデル

対応モデルについては予告なく変更になる場合があります。また、いくつかのモデルは在庫切れになっていることがあります。

地上･BS･110度CS デジタルハイビジョン 液晶テレビ	KDL-52X5050 KDL-52X5000 KDL-52W5000 KDL-52V5000 KDL-46X5050 KDL-46X5000 KDL-46W5000 KDL-46V5000 KDL-46V3000 KDL-40X5050 KDL-40X5000 KDL-40W5000 KDL-40V5000 KDL-40J5000 KDL-40V3000 KDL-40J3000
シアタースタンド システム	RHT-S10

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。

しかし、まちがった使いかたをすると、火災･感電･転倒･落下などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために安全のための注意事項を必ずお守りください。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電・転倒・落下などにより死亡や大けがの原因となります。

転倒防止の処置をする

転倒防止の処置をしないと、スタンドが転倒したり、テレビが落下して、けがの原因となることがあります。テレビと壁などをつないで転倒防止の処置を行ってください。

堅くて平坦な床面に設置する

傾いた床面に設置するとスタンドが転倒したり、テレビや接続機器が落下して大けがの原因となることがあります。畳、じゅうたん、カーペットなどの上に置く場合は、板など堅いものを敷いてください。

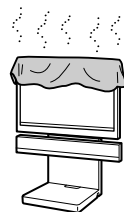
テレビや接続機器にぶら下がらない

スタンドが転倒したり、テレビや接続機器が落下して、大けが、死亡などの原因となることがあります。

スタンドの上に乗らない

お子様がスタンドの上に乗ったりすると、スタンドが転倒する、テレビや接続機器が落下するなどの事態が発生し、大けがや死亡の原因となります。

テレビや接続機器の通気孔をふさがない

テレビや接続機器の上に布をかけて通気孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

テレビや接続機器の電源コードおよび接続ケーブルをはさまないようにする

- テレビや接続機器をスタンドに取り付けるときは、電源コードおよび接続ケーブルをはさみこまないようにする。
  電源コードおよび接続ケーブルに傷がついて火災や感電の原因となります。

- スタンドを動かすときは、電源コードおよび接続ケーブルを踏まないようにする。
  電源コードおよび接続ケーブルに傷がついて火災や感電の原因となります。

電源コードおよび接続ケーブルを足で引っかけない

転んだり、スタンドが転倒したりして、けがの原因となることがあります。

テレビを取り付けたままや、接続機器を設置したまま移動させない

テレビを取り付けたままや、接続機器を設置したまま移動させると、腰を痛めたり、スタンドが転倒して、大けがの原因となります。また、接続機器の落下により破損の原因にもなります。

⚠注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

対応モデル以外のものを取り付けない

禁止

- このスタンドは対応モデル専用です。対応モデル以外のものを取り付けると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。
- 対応モデル以外のもの（陶器や花瓶など）は置かないでください。
- スタンドの分解･改造は行わないでください。
- 熱いものを直接スタンドに置かないでください。熱により変色、変形することがあります。

テレビやシアタースタンドシステムを固定する

付属のネジでテレビやシアタースタンドシステムをスタンドに固定してください。
固定しないと、スタンドが転倒したり、テレビやシアタースタンドシステムが落下して、けがの原因となることがあります。

体重をかけたり、硬いものをぶつけない

テレビやシアタースタンドシステムを取り付けるときに、スタンドに手をついて体重をかけたり、ドライバーなどの硬いものをぶつけたりしないように注意してください。

スタンドを動かすときのご注意

無理に動かそうとすると、腰を痛めたり、足をけがしたりする原因になりますので、下記のことをお守りください。

- スタンドを動かすときは、必ずテレビや接続機器をはずしてから、2人以上で行う。
- スタンドを引きずらない。スタンド底面の部品がはずれて、床に傷がつくおそれがあります。
- スタンドを動かすときは、手足を底板にはさまないように注意する。

使用上のご注意

お手入れをする際には、やわらかい布で、から拭きしてください。汚れがひどいときは中性洗剤を水で薄め、やわらかい布に含ませて軽く拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの化学薬品はスタンドの仕上げを痛めることがありますので、使わないでください。

設置上のご注意

先に示した安全上のご注意をよくお読みのうえ、取り付けや設置･保守･点検･修理などを安全に行ってください。

- 組み立てるときは、床に傷がつくのを防ぐため、梱包材などを敷いてください。
- 設置場所は、堅くて平坦な床面にしてください。設置場所によってはスタンドの変形や傾きが生じることがありますので下記のことをお守りください。
  - 直射日光が当たる場所や、暖房器具のそばに置かない
  - 高温多湿の場所や屋外に置かない

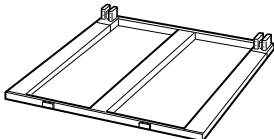
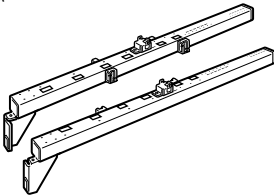
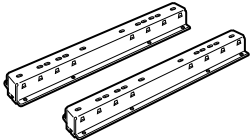
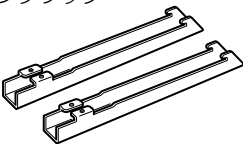
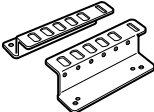
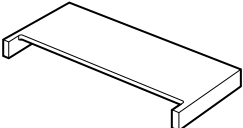
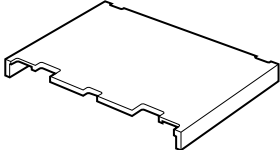
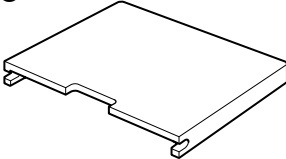
設置は2人以上で行う

テレビやシアタースタンドシステムをスタンドに取り付けるときは、2人以上で行ってください。
1人で行うと腰を痛めたり、けがの原因となることがあります。
また、設置するときは、お子様が近づかないようにしてください。

組み立て手順に従って、しっかりと組み立てる

ネジがゆるんでいたり抜けていると、スタンドが傾いて転倒し、落下による大けがや破損の原因となることがあります。

組み立てるときには、手や指を傷つけないように注意する

スタンドを組み立てるときや、テレビやシアタースタンドシステムを取り付けるときには、手や指を傷つけないようにご注意ください。

取り付け手順に従って、テレビやシアタースタンドシステムをしっかりと取り付ける

ネジを確実に締めてください。
テレビやシアタースタンドシステムがしっかり取り付けられていないと、テレビやシアタースタンドシステムが落下し、けがの原因となることがあります。

手順1：部品を確認する

名称	数量
台座	1
フレーム	2
ブラケット	2
マウンティングフック	2
取り付け金具	2
ボード❹	1

名称	数量
ボード❺	1
ボード❻	1
ネジ（＋PSW4×16）	4
ネジ（＋PSW5×12）	30
ネジ（＋PSW6×16）	4

組み立てる前に上記ネジに合った⊕ドライバーをご用意ください。

手順2：フロアスタンドを組み立てる

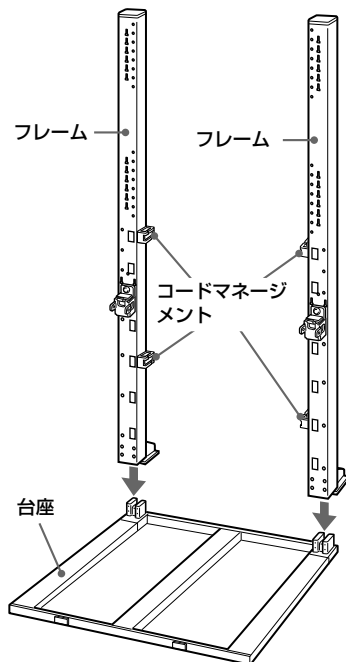
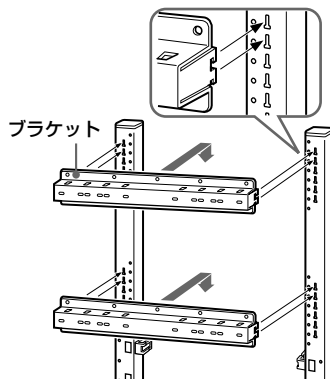
⚠警告

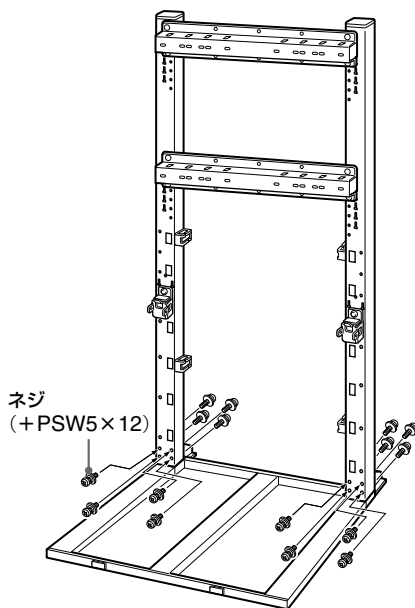
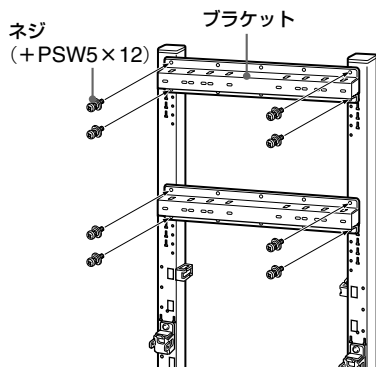
機器などに電源コードをはさみこむと、ショートして感電する恐れがあります。また、電源コードや接続ケーブルを引っかけると、転んだりスタンドが倒れたりしてけがの原因となることがあります。

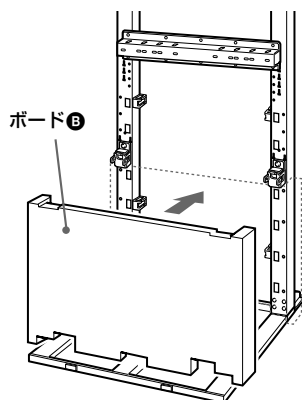
テレビの設置場所を決め、あらかじめフロアスタンドを置く。

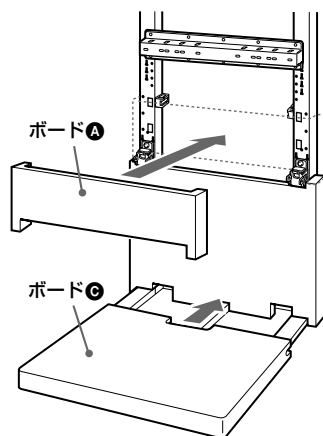
テレビは重いので、取り付ける前に場所を決め、スタンドを組み立ててください。

1 フレームを台座に取り付ける。

フレームはコードマネージメントを内側にし、転倒防止ストッパーが下になるように取り付けてください。

2 17ページのネジ・フック取り付け位置一覧表を参照してフック位置を確認し、ブラケットをフレームの所定の穴に掛ける。

3 台座のネジ穴とフレームのネジ穴を合わせ、付属のネジ（＋PSW5×12）16本で固定する。

各フレームの前、後をネジで固定してください。

4 ブラケットのネジ穴とフレームのネジ穴を合わせ、付属のネジ（＋PSW5×12）8本で固定する。

5 ボードⒷをフレームに取り付ける

ボード後面にはマジックテープが取り付けられています。ボードが固定されるようしっかり押さえてください。

6 ボードⒶ、ボードⒸをフレームに取り付ける。

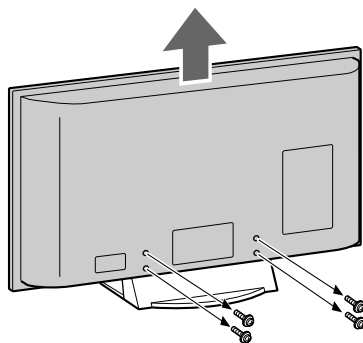
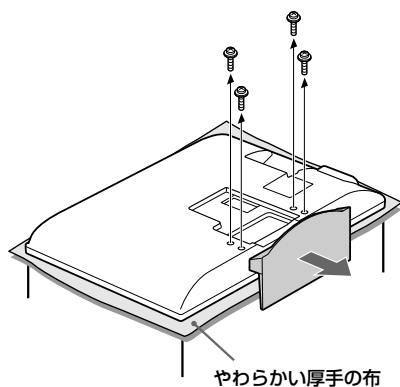
ボード後面にはマジックテープが取り付けられています。ボードが固定されるようしっかり押さえてください。

ご注意

- フレームを台座にネジで仮留めしたあと、しっかり締め直してください。
- 電動ドライバーを使用する場合、締め付けトルクはおよそ1.5 N·m｛15 kgf·cm｝に設定してください。

手順3：テレビの取り付け準備をする

1 テーブルトップスタンドをテレビからはずす。

テーブルトップスタンドが取り付けられていない場合はこの作業は不要です。
テレビ後面からネジ4本をはずし、テーブルトップスタンドをはずしてください。

KDL-52X5050、KDL-52X5000、KDL-52W5000、KDL-52V5000、KDL-46X5050、KDL-46X5000、KDL-46W5000、KDL-46V5000、KDL-46V3000、KDL-40X5050、KDL-40X5000、KDL-40W5000、KDL-40V5000、KDL-40V3000のとき：

KDL-40J5000、KDL-40J3000のとき：

ご注意

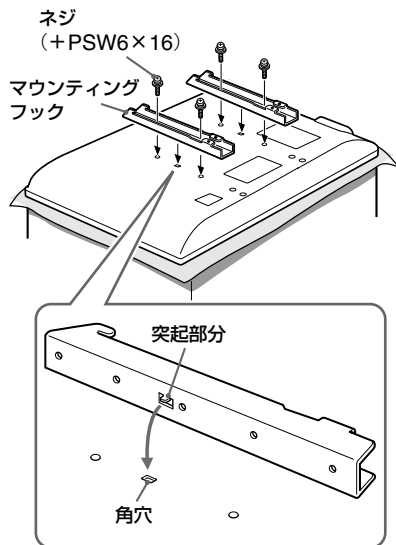
- 図のようにテレビより広い台の上に載せて作業してください。
- 台の上には突起や異物が無いことを確認し、やわらかい厚手の布などを敷いて作業してください。

⚠警告

画面に直接負荷や衝撃がかかると破損したり、傷がつく危険性があります。
テレビ本体とスタンドを同じ水平面上に置くと不安定になり危険です。図のようにテレビ本体だけを台の上に載せるようにしてください。
スタンドを引き抜くときは、テレビをしっかり持つようにしてください。

2 17ページのネジ・フック取り付け位置一覧表を参照してネジ穴位置を確認し、マウンティングフックをテレビ後面に固定する。

❶ 下図を参照してマウンティングフックの突起部分が、テレビ後面の角穴におさまるように位置をあわせてください。

❷ マウンティングフックを付属のネジ（＋PSW6×16）4本で仮留めをする。

❸ テレビに均一に固定されるように
しっかり締め付ける。

ご注意

- マウンティングフックを取り付けるときは、付属のネジ（＋PSW6×16）以外は使用しないでください。
- 電動ドライバーを使用する場合、締め付けトルクはおよそ2N·m {20kgf·cm} に設定してください。

⚠警告

マウンティングフックのネジ留め（左右各2本）が完了する前に、マウンティングフックを持ち上げないでください。マウンティングフックやテレビのキャビネットが変形する場合があります。

手順4:テレビを取り付ける

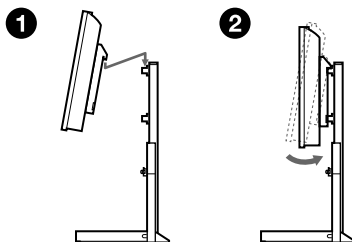
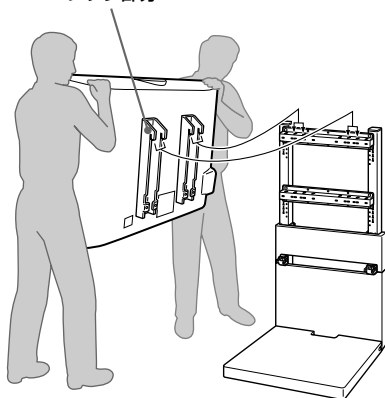
1 テレビをブラケットに取り付ける。

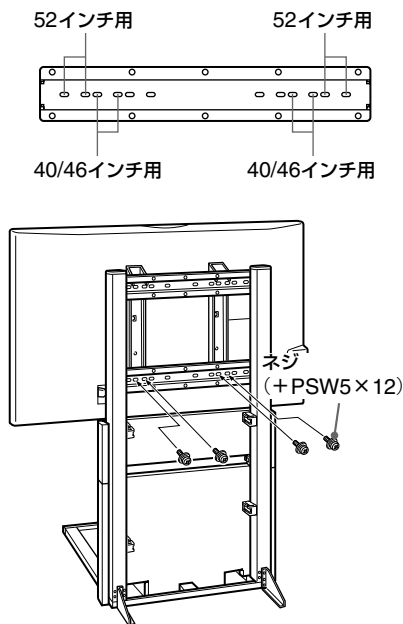
❶ マウンティングフック上側にあるフック部分をベースブラケットに掛ける。
❷ テレビをしっかり持ちながら、ゆっくりおろす。

ご注意

テレビをスタンドに取り付けるときは、スタンドが倒れないようにご注意ください。

⚠警告

テレビは、必ず2人以上で持って移動させてください。

2 テレビとブラケットを付属のネジ（＋PSW5×12）4本で固定する。

ブラケットを固定するネジの位置はテレビのサイズにより異なります。

ご注意

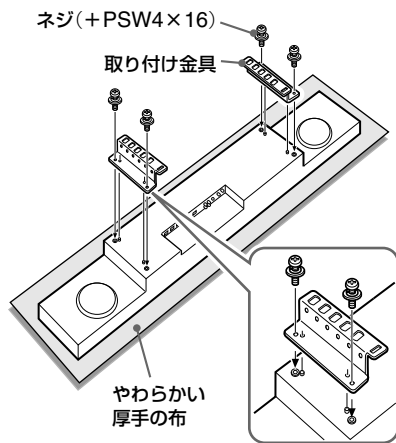
電動ドライバーを使用する場合、締め付けトルクはおよそ1.5N･m｛15kgf･cm｝に設定してください。

⚠警告

ネジ（左右各2本）をしっかりと締め付けてください。このネジの締め付けが不充分だとテレビが上に押されたとき、フロアスタンドからはずれ、落下によるけがの原因となります。

手順5：シアタースタンドシステムを取り付ける

1 取り付け金具をシアタースタンドシステム後面に固定する。

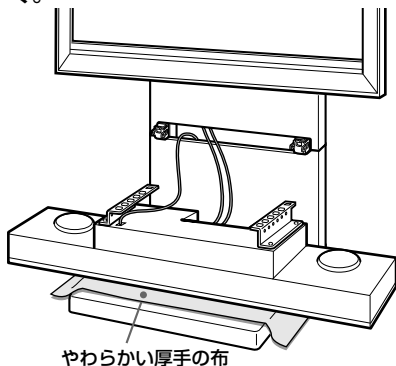
取り付け金具を付属のネジ（＋PSW4×16）4本で留めてください。

ご注意

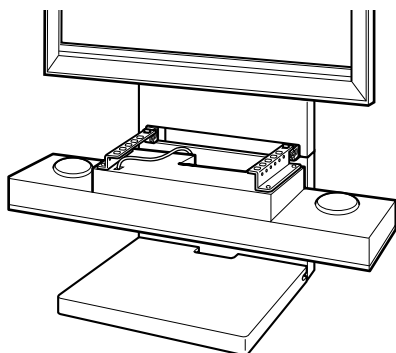
- 図のようにシアタースタンドシステムより広い台の上に載せて作業してください。
- 台の上には突起や異物が無いことを確認し、やわらかい厚手の布などを敷いて作業してください。
- 取り付け金具を取り付けるときは、付属のネジ（＋PSW4×16）以外は使用しないでください。
- 電動ドライバーを使用する場合、締め付けトルクはおよそ0.8N･m｛8kgf･cm｝に設定してください。

⚠警告

シアタースタンドシステムに直接負荷や衝撃がかかると破損したり、傷がつく危険性があります。

2 シアタースタンドシステムをボード©の上に置き、接続ケーブルをつなぐ。

ご注意

- ボード©の上には突起や異物が無いことを確認し、やわらかい厚手の布などを敷いて作業してください。
- シアタースタンドシステムをボード©に置く際は、シアタースタンドシステムの電源スイッチを押さないように、電源スイッチ部分がボード©の外にくるように置いてください。

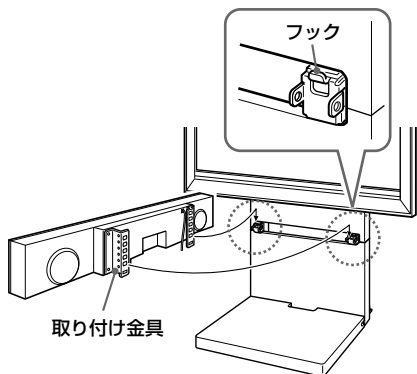
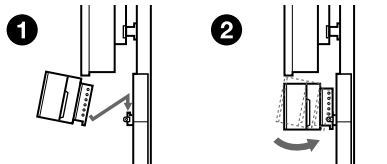
下図のように取り付け金具のサービスポジションをフレームのフックに取り付けると、接続ケーブルをつなぎやすくなります。サービスポジションの位置については17ページのフック位置のイラストをご覧ください。

3 17ページのネジ・フック取り付け位置一覧表を参照してフック位置を確認し、シアタースタンドシステムを取り付け金具に取り付ける。

ご注意

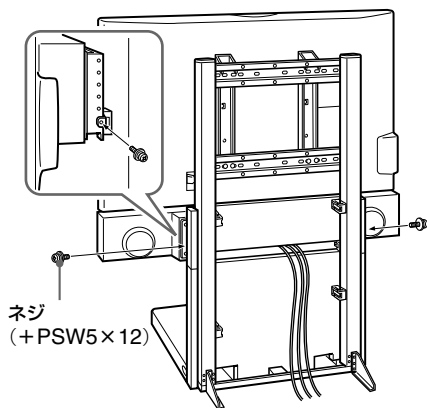
シアタースタンドシステムを取り付けるフック位置を間違えると、取り付ける際テレビやシアタースタンドシステムを傷つける恐れがございます。必ず17ページのネジ･フック取り付け一覧表でフック位置を確認してください。

❶ フレームのフックを取り付け金具の所定の穴に取り付け板を掛ける。
❷ シアタースタンドシステムをしっかり持ちながら、ゆっくりおろす。

⚠警告

シアタースタンドシステムは、必ず2人以上で持って移動させてください。

⚠警告

取り付け金具のネジ留め(左右各2本)が完了する前に、取り付け金具を持ち上げないでください。取り付け金具やシアタースタンドシステムのキャビネットが変形する場合があります。

4 シアタースタンドシステムとフレームを付属のネジ（＋PSW5×12）2本で固定する。

ご注意

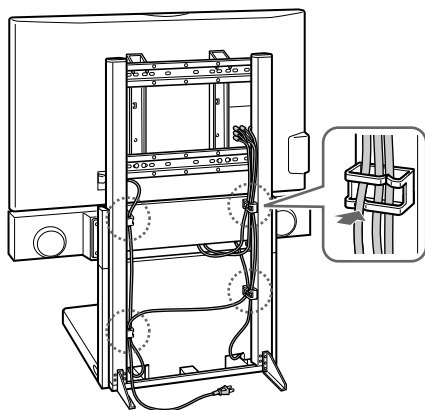
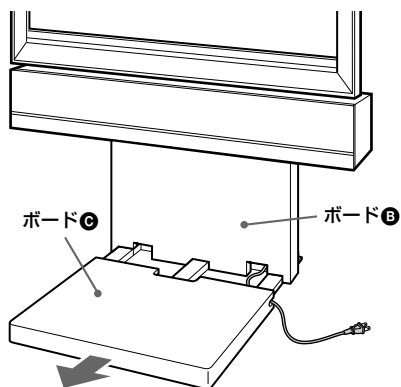
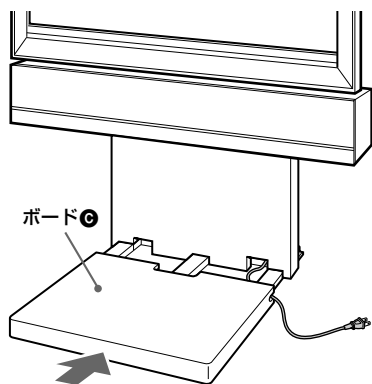
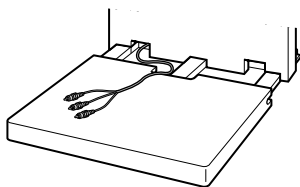
- 固定のネジ2本を使わないと、シアタースタンドシステムが落下し、けがの原因となることがあります。
- 電動ドライバーを使用する場合、締め付けトルクはおよそ1.5N·m {15kgf·cm} に設定してください。

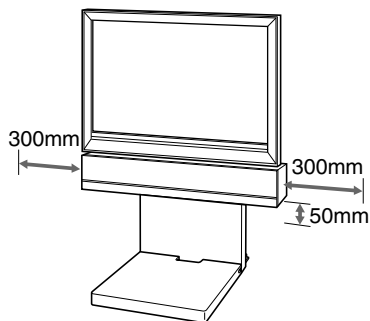
⚠警告

ネジ（左右各1本）をしっかりと締め付けてください。このネジの締め付けが不充分だとシアタースタンドシステムが上に押されたとき、フロアスタンドからはずれ、落下によるけがの原因となります。

手順6：ケーブル類をまとめる

1 接続ケーブルをテレビや接続機器につなぐ。

2 コードをコードマネージメントに差し込む。

3 ボード🅒をスライドさせてからボード🅑の穴から電源コードを通す。

4 ボード❸をスライドさせながら電源コードがボード❸の左右どちらかの側面の穴から出るように取り付ける。

ボード❸の上に接続機器を設置する場合は、図のようにコードを通して接続してください。

手順7:スタンドを部屋に設置する

スタンドを設置するときは、放熱と十分なサラウンド効果を発揮するために左右300mm離して設置してください。
また、ボード❸に他機器を設置するときは、シアタースタンドシステムの下面より50mm以上空けるようにしてください。

ご注意

- 角置きの場合も左右300mm以上、離して設置してください。
- 設置の際に、手を挟まないよう気をつけてください。
- 設置の際に、スタンドに取り付けたシアタースタンドシステムを持って、スタンドを移動させたり持ち上げないでください。

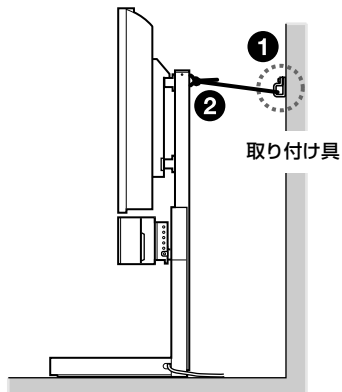
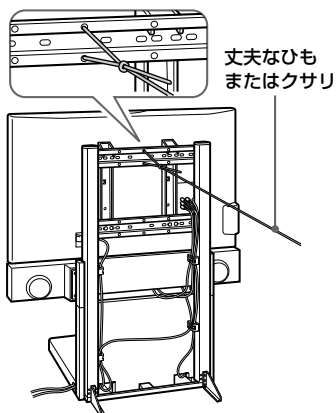
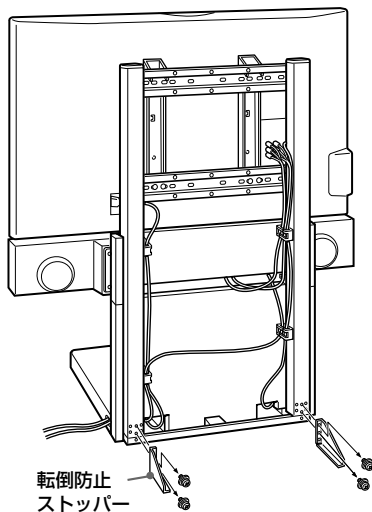
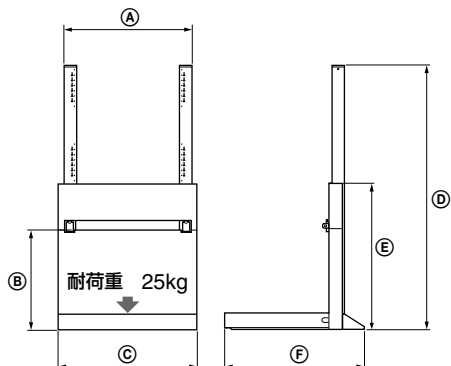
手順8：転倒防止の処置をする

⚠警告

転倒防止の処置をしないと、スタンドが転倒して、大けがの原因となることがあります。転倒防止の処置を行ってください。

あらかじめ市販の丈夫なひもまたはクサリと、壁につなぐための取り付け具をご用意ください。

❶ しっかりした壁にフックなどの取り付け具を固定する。

❷ テレビフックの穴にひもやクサリなどを通して、壁側の取り付け具にしっかりとつなぐ。

スタンドを壁に近づけて移動したい場合、フレームに付いている転倒防止ストッパーを取りはずすことができます。

主な仕様

寸法(mm)	Ⓐ	554
	Ⓑ	429.5
	Ⓒ	600
	Ⓓ	1138
	Ⓔ	627.5
	Ⓕ	618.5
質量(kg)		33.8

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

キャビネットにハロゲン系難燃剤を使用していません。

ネジ・フック取り付け推奨位置一覧表

お使いのテレビによってブラケットの取り付け位置とシアタースタンドシステム（RHT-S10）の取り付け金具の位置が変わります。下記の表と図を参考に取り付け作業を行ってください。

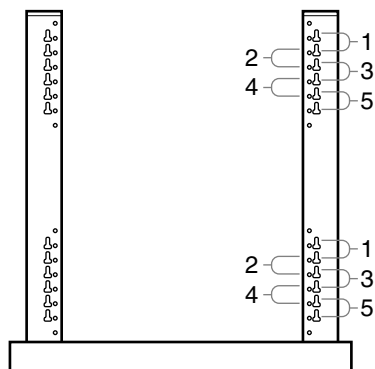
単位：mm

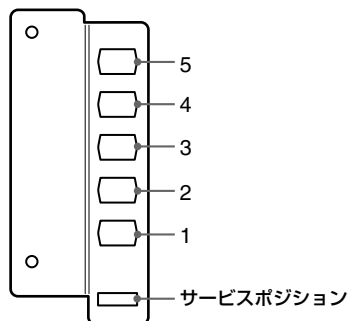
テレビ型名	ブラケットの取り付け位置	取り付け金具の位置（RHT-S10）	画面中央寸法
KDL-52X5050 KDL-52X5000	3	2	1000
KDL-52W5000 KDL-52V5000	3	3	1000
KDL-46X5050 KDL-46X5000 KDL-46W5000 KDL-46V5000 KDL-46V3000	1	1	990
KDL-40J5000 KDL-40J3000	1	1	962
KDL-40X5050 KDL-40X5000 KDL-40W5000 KDL-40V5000 KDL-40V3000	1	1	942

ご注意

上記以外の位置の組み合わせで取付けることもできます。取り付けの際は、テレビとシアタースタンドシステムがぶつからないように機器間のスペースをとるようにご注意ください。

ブラケットの取り付け位置

テレビをフロアスタンドに取り付ける場合のブラケット位置

取り付け金具の位置

シアタースタンドシステムをフロアスタンドに取り付ける場合のフック位置

よくあるお問い合わせ、解決方法などは
ホームページをご活用ください。　**http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「306」＋「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389 **受付時間** 月〜金：9:00〜20:00 土・日・祝日：9:00〜17:00

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

Sony Corporation Printed in China